

○ 本競技会は、2023年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則並びに本競技会申し合わせ事項によって行う。

競技規則及び競技者・指導者の注意事項

1. 招集（コール）

- (1) 招集の時間は **①トラック競技は開始予定時刻の40分前～20分前** **②フィールド競技は60分前～40分前**とする。
- (2) 招集所においてアスリートビブス(ナンバーカード)・スパイク等の最終点検を受けて第4ゲートより入場する。入場は全て競技役員（補助員）の誘導による。招集時刻に遅れた者は棄権とみなして出場を許されないので、特に注意する。氏名に誤記載があった場合には、朝の学校（団体）受付の際に正しく訂正する。
- (3) 朝の時点で欠場が決まっている者については、欠場届を朝の学校（団体）受付時に提出すること。尚、その後怪我等で欠場する者が出た場合には、本人または代理人が招集所に、招集完了時刻までに欠場届を提出すること。
- (4) 招集所は、第4ゲート（200mスタート付近）の外側に設ける。

2. レーン順・試技順

トラック競技のレーン順及びオーダー（スタート時の整列順）は、プログラム記載の○数字のとおり、フィールド競技の試技順は、上から下の順序とする。

3. 不正スタートをした競技者は1回目で失格とする。
4. 800m・1000mはオープンレーンで実施をする。
5. 150mのスタート位置は、400mH7台目設置ライン5m後方から、1000mのスタート位置は、3000mのスタート位置からとする。
6. 3000mは、グループスタートとする。第2グループのスタートラインから10m程度は代用縁石を設置しない。
7. バーの上げ方(天候などの状況によっては、変更する場合もある)

◇走 高 跳（走高跳は、2グループに分けて行う場合がある）

男子：1m30-35-40-45-50-55-60-65-70・・・以降3cmずつ

女子：1m10-15-20-25-30-35-40-45・・・以降3cmずつ

◇棒 高 跳

男子：2m20-30-40-50-60・・・以降10cmずつ

女子：1m80-90-2m00-10-20・・・以降10cmずつ

8. 円盤投は投てき場、ジャベリックスローはメイン競技場で競技を行う。

9. 選考会の部について

- (1) トラック種目の予選においては、記録上位8名が決勝に進出する。
- (2) フィールド種目の試技数については、走高跳・棒高跳は連続する3回の無効試技で競技終了とする。その他のフィールド種目はすべての競技者に3回の試技が与えられ、3回の試技の終了時点で上位8名には、さらに3回の試技が与えられる。

10. 競技用シューズの規定について

- (1) WA規則TR5.2を適用する。なお、フィールド競技用シューズについては適用を除外する。
- (2) 規定外シューズ使用者の扱いについては「失格扱い」とする。なお、疑義があった場合は検査等の確認を行う。

11. 入場規制について

メイン競技場・補助競技場・投てき場への入場は、選手・競技役員・補助員及び指導者のみとする。ただし、指導者のメイン競技場への入場は、練習開放時間のみとする。

12. その他

- (1) トラック競技の出場者は、プログラムの○数字と同じ腰ナンバー標識を、招集所で競技者係から受け取り、パンツの右横（800m以上の競技については両腰）、やや後方に付けること。フィニッシュ後、係に返却すること。
- (2) 選手は、第4ゲート（200mスタート付近）からの入退場及び第1ゲート（100mスタート後方）から退場することができる。トラック競技のフィニッシュ後は、バックストレート側（競技場内）を回って自分の荷物を取りに行き、第4ゲート（200mスタート付近）又は第1ゲート（100mスタート後方）から退場すること。その際、競技進行の妨げにならないように注意し、競技役員の指示があった場合は従うこと。
- (3) アスリートビブス(ナンバーカード)の数字は、読み取りやすいようにはっきりと書き、胸と背にしっかりと付けること。走高跳、棒高跳、走幅跳の競技者は、背または胸に付けるだけでもよい。
- (4) 競技会運営に支障をきたすので、トランシーバーの使用を禁止とする。
- (5) スタンド最前列や通路で立ち止まっていた観戦は禁止とする。
- (6) メイン競技場への「のぼり旗」及び「応援横断幕」の設置についてはサイド・バックスタンド最上段手すり部分のみとする。
- (7) ウォーミングアップについては『練習会場の使用について』を遵守し、事故のないように行うこと。
- (8) 三段跳の踏み切り板は、8mまたは10mを使用する。